

2017年度 第1回自治体学会 評議員会 議事録

日時：2017年8月24日（金） 12時～12時45分

場所：山梨県立図書館 2F 多目的ホール

[審議事項]

冒頭、事務局から現時点での出席者は委任を含め31名であり、本会議は有効に成立している旨発言があった。

（最終的には、遅参者を含め出席者28名、委任状7名の計35名が出席。他に評議員以外の理事2名（地域支援部会長、総務部会長）及び監事2名が出席したほか、事務局3名が会議に出席）

議案に先立ち、西村理事長からあいさつがあった。あいさつの中で7月9日の理事会で杉渕氏を新たに事務局長に選出したことの報告、及び前事務局長の富岡氏には事務局を直営に移行する等困難な時期に活動していただいたことへの謝意が述べられた。

（1）「第1号議案 2016年度事業報告（案）」及び「第2号議案 2016年度決算報告（案）」について

両案は一括して議題とされ、事務局から説明が行われた。

次に、道前監事より、監査報告として、2016年度の会計事務は適切に処理されていること、昨年監査意見で述べた地域支援活動費の「実績報告書」については実施後早目に提出されており、改善されていること、団体会員の加入数が減少しており、団体会員にとっての魅力の検討が必要なことが述べられた。

質疑は無く、両議案とも原案通り会場から異議なく承認された。

（2）「第3号議案 2017年度事業計画（案）」及び「第4号議案 2017年度予算（案）」について

両案は一括して議題とされ、事務局から説明が行われた。

- ・自治体学会講演会は今年度3回予定とあるが、現時点で具体の予定はあるか。（松本（敦）評議員（関東））
- ・現時点で具体の予定はない。代わりに田村明まちづくり賞を受賞した地域を見に行くなど新しい企画を考えている。（發知地域支援部会長）
- ・団体会員は今年度57団体とあるが、昨年度は何団体だったか。（荒木評議員（近畿））
- ・1団体が抜け、1団体が加わった。団体数は変わらないが口数が減っている。（事務局）
- ・今年3月4日の評議委員会資料中の2016年度予算額には、56団体90団体とある。（日下事務局担当理事）

その後、両議案とも原案通り会場から異議なく承認された。

(3) 報告事項

①顧問の委嘱について

事務局より、2009年度に室氏の後任として1年間、また2014年度より2014年より1期代表運営委員を務められた中川幾郎氏に自治体学会顧問を委嘱することを理事会で決定した旨報告があった。

②文書の保存の考え方について

事務局より、2016年度の監査で指摘があった会計書類の保存及び事務局で保管している文書類についての保存の考え方について報告があった。

- ・会計書類は10年保存というのは長くないか。根拠は何か。(道前監事)
- ・役所の会計文書は5年だが、民法上の時効を考慮すると10年必要である。(宮崎企画部会長)
- ・入退会の書類というものは何か。会費の滞納は3年までだが10年も保存が必要なのか。(阿部評議員(全国))
- ・入退会の届出は書類またはメールで行われているが紙ベースにしたもので保存している。(事務局)

③自治体学会賞

国吉学会賞委員長より、田村明まちづくり賞及び研究論文賞の受賞者及び選考経緯等について報告があった。

④2018年度大会開催地について

西村理事長より、2018年度大会は青森県青森市で2018年8月24日(金)、25日(土)で開催されることとなった旨報告があった。

- ・以前からお願いしているところであるが、来年度の開催日は沖縄では旧盆の時期にあたる。来年度の大会について変更は難しいと思うが、地域によっては旧盆に当たると参加しづらい面もあるので今後配慮願いたい。(前泊評議員(沖縄))
- ・来年度は会場の準備も進んでいるので変更は困難だが、今後の開催に当たっては配慮してまいりたい。(西村理事長)

⑤その他

宮崎企画部会長から、甲府大会に関し、以下の発言があった。

- ・エクスカッションは残念ながら成立しなかったこと、準備について企画部会に加え他

部会の応援を頂き、感謝申し上げます。

・大会への取材の問い合わせについて、取材については、『議論の内容を正確に伝える』ことを絶対的な条件とするため、記事等の公表前本人確認などを行うようにしてもらいようお願いすることとした。加えて、インターネットや SNS への動画、録音等のアップロードは避けてもらうこととする一方、概要等をアップすることは可とする旨アナウンスすることとする。今回はこのような対応としたが、大会への取材等の在り方については今後も議論が必要と考える。

文責:松本